

〔Ⅲ〕 運営概要

健診受診者数 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健診部門	人間ドック	697	846	1,402	1,290	1,121	1,203	1,256	1,490	920	998	1,346	1,406	13,975
	施設内健診													
	成人病健診	196	321	378	526	489	620	457	391	189	86	296	180	4,129
	主婦健診	21	72	95	81	72	108	126	110	48	12	21	9	775
	一般健診	163	267	329	434	267	220	296	236	173	151	108	230	2,874
	小計	1,077	1,506	2,204	2,331	1,949	2,151	2,135	2,227	1,330	1,247	1,771	1,825	21,753
	巡回健診	893	346	745	538	561	475	548	651	167	195	201	186	5,506
合計	1,970	1,852	2,949	2,869	2,510	2,626	2,683	2,878	1,497	1,442	1,972	2,011	27,259	

オプション検査実施件数 (単位:件)

C T	頭部CT	90	83	110	122	109	100	116	160	83	91	151	135	1,350
	腹部CT	63	62	88	81	76	59	71	100	66	99	138	87	990
	胸部CT	60	69	87	61	42	53	38	70	49	47	89	52	717
婦 人 科 系	子宮がん	171	206	378	420	424	402	381	444	277	224	343	273	3,943
	乳がん	168	195	390	434	438	389	406	448	295	254	332	278	4,027
	卵巣がん	86	81	130	91	87	85	71	88	57	47	91	84	998
そ の 他	マンモグラフィ	101	103	202	223	221	193	215	242	167	162	192	140	2,161
	乳エコー	3	4	14	35	18	32	22	33	21	13	19	13	227
	喀痰	52	108	72	45	22	39	43	42	25	52	41	39	580
	胃カメラ	106	124	206	183	128	149	136	178	106	112	175	166	1,769
	甲状腺	24	30	45	21	27	22	30	35	14	22	57	25	352
	骨粗しょう症	78	104	185	180	202	146	111	117	87	95	105	57	1,467
	前立腺	93	115	180	151	116	105	119	129	70	81	123	96	1,378
	血圧脈波	56	76	112	92	71	73	84	94	71	77	133	100	1,039
	ピロリ菌	37	44	55	64	43	54	69	71	37	43	72	57	646
	膵臓腫瘍マーカー	35	32	35	34	45	38	47	57	37	41	81	54	536
	大腸腫瘍マーカー	49	39	46	49	54	50	58	82	40	50	100	80	697
	大腸ファイバー	8	6	18	11	7	2	4	9	11	7	14	8	105
	脳ドック			2		2	1		2	3	2	8		20
	合計	1,280	1,481	2,355	2,297	2,132	1,992	2,021	2,401	1,516	1,519	2,264	1,744	23,002

〔Ⅲ〕運営概要

2005 年度（過年度）の総括（評価、反省）

項 目	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる健診の提供 <ul style="list-style-type: none"> 1) 受診のアプローチ 2) フォローのアプローチ 3) 女性専用スペースの定着 4) オプション検査の充実 5) 適切な医療への誘導 ・情報公開 <ul style="list-style-type: none"> 機能評価認定施設であることを最大限に内外にアピールする ・顧客満足度向上 <ul style="list-style-type: none"> 満足度の測定と評価(アンケートの実施) 品質マネジメントシステムの活動強化 ・情報資産の活用 <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティの強化 健診システムの充実、改良 職員研修の充実 ・職員満足度の向上 <ul style="list-style-type: none"> 職員教育の強化 処遇の見直し(標準化) 諸規定の見直し コンプライアンスの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受診しやすい環境作り(受診日数の拡大)も2年目を迎え、確実に受診者が増加している。又、ピーク時の祝日の診察日に対しても積極的な誘導が出来た。今後は、混雑緩和、ニーズの拾い上げを積極的に行い、他施設との差別化を図る。 ・ 女性専用スペースも好評で、婦人科系の受診者も大幅に増加した。 ・ 各種相談も昨年度から積極的なアプローチにより、確実に件数を伸ばしている。 ・ オプションの件数は増加したが、企業健診の受診者への受診にはもう少し時間を要する。 ・ 生活習慣病外来は、Drの問題もあり、積極的な展開は次年度以降になる。体制の強化が急務である。 ・ 巡回健診においては、大口契約先の契約解除に伴い、計画を大きく減収したが、新規獲得の営業活動により計画を達成することが出来た。 ・ 機能評価の受診に向け体制の確立等の準備を進める。 ・ アンケートは、3月に実施 ・ お客様の声を元にした、分析、改善は積極的に実施。 ・ QMSの活動状況は良好、統合審査を終了 ・ IMSの活動も活発であり、Pマーク取得に向け準備中 ・ 健診システムの開発に向けDBの取得も完了し、SCCとの調整中。今後は、グラントデザインの作成、開発へと進めてゆく ・ QMSによる研修も年間計画どおり4回実施している。 ・ 認定資格の受験等で、より精度の高い健診を目指し、受診者に対する「安心」の提供と競合他施設との差別化を目指す。 ・ 勤務時間の標準化など検討中 ・ コンプライアンスについては、グループの取り組みと足並みを揃える上での、研修会の参加のみであった。

項 目	実施状況
<p>・人事政策</p> <p>教育、研修の充実(年間スケジュールの作成、事後検証)</p> <p>組織機能、編成の見直し(適正人員、構成の見直し)</p> <p>関連施設間人事ローテーション(特に医師)の検討(統括本部との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 研修の有効性を継続的に評価すること ▪ 適正人員についても、サービス内容の見直しのタイミングに合わせて、効率的に、且つ十分な配置を検討する ▪ 医師の人選も含め「グループ人事管理委員会」の機能を十分に生かした招聘を行う。 ▪ 医師の確保は、ここ二年間苦慮している。必然的に常勤医師への負担が増加し悪循環を招いている。常勤3名体制は次年度に向け必須条件であり、統括本部からの最大限のサポートを仰がねばならない。